

経済のグローバル化と貧困・格差の拡大 この現実で、どう生きたらよいのか どう平和を求めたらよいのか

■講師：下川雅嗣神父 上智大学総合グローバル学部教授 イエズス会司祭

■日時：4月27日（土）13:00～15:30（受付開始 12:30）

■会場：カトリック雪ノ下教会 レベックホール

○当日雪ノ下教会16:00主日ミサも下川神父様が司式される予定です。

○ミサ後17:00よりレベックホールで下川神父様を囲んで懇親会を行います。
是非ご参加下さい。（会費500円）

- ・事前申し込みは不要です。どなたでもご自由に参加できます。
- ・参加費無料 当日自由献金をお願いしております。
- ・下記のFacebookからオンラインライブ配信します。どなたでもPC、スマホからご覧になれます。講演会終了後も視聴することができます。

講師プロフィール

イエズス会司祭。上智大学総合グローバル学部教授（国際政治経済論、国際経済学）。長年にわたり渋谷を中心とした日本の野宿者運動やアジアスラム居住運動に関わる。
（詳細は裏面をご覧ください）



オンラインライブ <https://www.facebook.com/catholicpeacekamakura>

スマホからはこのQRコードからお入り下さい→



「キリスト者として平和を学ぶ」第43回勉強会

カトリック雪ノ下教会：鎌倉市小町2-14-4（鎌倉駅東口から徒歩5分）
問い合わせ先：catholic.peace.kamakura@gmail.com

裏面もご覧ください →

ご講演のアウトライン

1) 貧困・格差がどうして増えたのか。

日本において（本当は世界のほとんどの国において）、貧困者と貧富の格差が拡大し、さらに、自己責任に責任を帰すような流れが強くなっているのはなぜか。（貧困と格差の実態）

- ・ 価値の序列の逆転
- ・ 市場のメカニズムの本質：何ができて何ができないのか。何をするのか。
- ・ グローバルな格差（世界のジニ係数） → テロ、紛争、戦争

2) この現実のなかで、私たち（キリスト者）はどう生きたらよいのか。どう平和を希求したらよいのか。

- ・ イエスはユダヤの社会で何をしたかったのか。
- ・ 市場化の流れと企業の利益追求活動の自由 ⇔ 無償の愛
- ・ 力への傾き（軍事化、経済力、力による治安） ⇔ イエスのケノーシス（無力）

講師プロフィール（続き）

1961年生まれ。大学時代からCLC（クリスチャン・ライフ・コミュニティ）という信徒使徒職団体に深くコミットしてイグナチオの霊性と共同体づくりに魅せられる。卒業後5年ほど労働省で働いたのち、1989年イエズス会入会。1994年以降、アジアの各地のスラムを訪問して彼らの生き延びるための共同体づくり、創意工夫のある種々の試みや彼らの運動を学びながら、各国の運動を繋いでいく手伝いを長年している。その頃から日本（東京）でも野宿者が増加したのが気になり、1998年から現在に至るまで、アジアのスラムの居住運動だけではなく、渋谷の野宿者と関わり、彼らの共同体づくりや野宿者運動にコミットする。一方で、イエズス会入会后経済学を学ぶことを管区長に命じられ、2000年より現在に至るまで上智大学で経済学（国際経済学と同時に、貧困がどうやって生み出されるのかその構造とメカニズム、貧困者自身の発展のプロセスなど）を教える。2001年司祭叙階。

メモ